

統合報告書は新しい形の会社案内

〈報告する〉から、《コミュニケーションする》《ブランディングする》へ

2021年 7月

凸版印刷株式会社

トッパン エディトリアル コミュニケーションズ株式会社

上場企業に「統合報告書」ブーム？ 年間590社が発行

ESG投資の拡大、格付け機関からの要求で

、統合報告書の発行が増加。

2020年12月末時点で591社

(株式会社ディスクロージャー&IR研究所調べ)。

この傾向はまだまだ続きます。

そして、

ツールの目的が変化してきています。

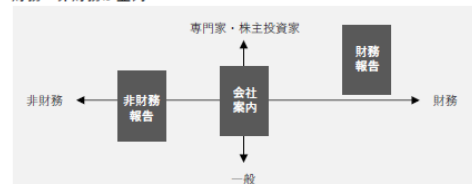
《 報告する 》 から



企業の社会的責任を
メッセージ化

「ポジショニング」
「ブランド」
「差別化」で企業を評価

財務・非財務が並列



《 コミュニケーションする 》、

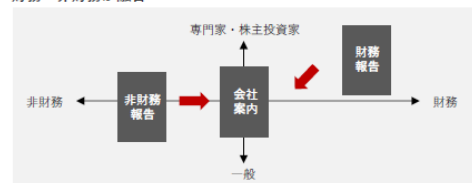
《 ブランディングする 》 時代に。



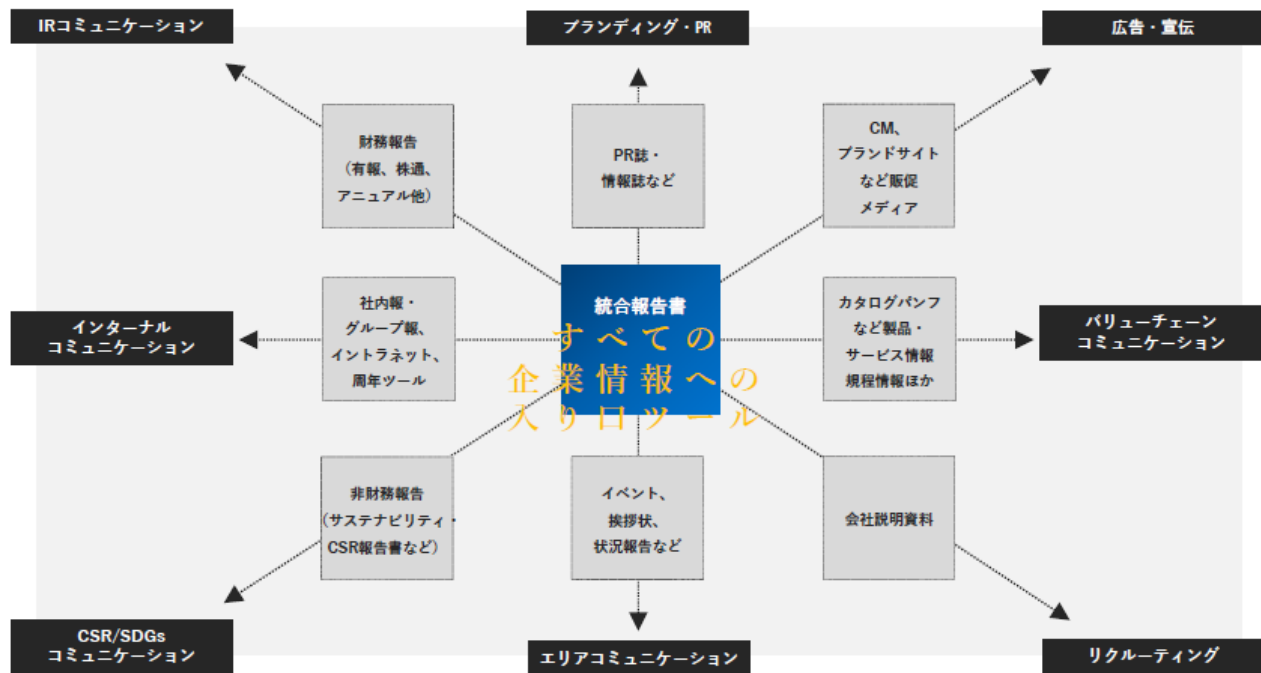
生活者の
「自己実現」に対応

年齢・ジェンダーを問わない
「ファンづくり」
「推奨のネタ提供」

財務・非財務が融合



全ての情報入り口、それが統合報告書



私たち凸版がお手伝いできること

- 報告書作成を見据えて、情報と媒体・ツールの役割を見直し、ステップアッププラン策定
- 制作する統合報告書のレベルによって、必要な専門家をアテンド
- 経営層への統合報告の必要性レクチャー
- 同業他社等ベンチマーク企業の報告書の分析
- 社内体制構築の支援（勉強会など）
- 最適な統合報告の構成案作成、統合報告以外のツールの構成案作成
- 価値創造ストーリー、価値創造モデル作成支援（専門家アドバイス導入支援）
- 主要項目のビジュアル訴求案作成（含むインフォグラフィック）
- 取材、コピーライティング、撮影、デザイン
- ESGデータ、CSR報告、SDGs開示など
統合報告以外のセグメントツールの制作支援

TOPPAN

| **TOPPAN** |
| **EDITORIAL** |
| COMMUNICATIONS |